

謝辞

卒業生の保護者を代表いたしまして、一言お礼の言葉を述べさせていただきます。

本日は、新型コロナウィルス対策の為にいつも以上に大変な中、卒業式を挙行していただき心より感謝申し上げます。校長先生をはじめ教職員の方々地域の皆様の温かい見守りお力添えもいただき無事卒業を迎えることができました。

三年前、大きく成長することを期待して用意した大きめの制服に身を包み、まぶしいくらいに真っ白なスニーカーを履いて、大きな期待と少しの不安を胸に、まだあどけない面持ちで、この淀中学校へ入学した日が鮮明に思い出されます。

卒業を迎えた彼らは、三年間の中学校生活の中で、心身ともに成長したことへの自身や誇りを感じ、予期せぬ出来事乗り越えた逞しさを感じます。

淀中学校では様々な教育活動が行われ、授業の他にも、クラスという一つの社会の中で多くを学んだ三年間でした。

一泊移住や校外学習、修学旅行、体育大会に文化祭。様々な行事のたびに子ども達は、仲間と協力し合いながら、一つの事を成し遂げた達成感。思うように事が運ばないもどかしさや挫折感。仲間の大切さを感じながら、先生方の温かい見守りや指導を受け、少しずつ成長し、三年間充実した学校生活を送ることのできた皆さんの思い出を作ることができました。

今年度は、校舎建て替えに伴い、旧校舎の取り壊しやプレハブ校舎への移動。普段とは異なる環境での学校生活

でした。特に体育大会は、旧西淀川高等学校での開催でした。先生方には、子ども達が安心して、普段通りの学校生活、体育大会が行えるよう、準備の段階からご尽力いただきました。

また、部活動では、子ども達の為に試合や大会への引率、応援に来てくださったこと、日々の熱い指導、子ども達は決して忘れないでしょう。

今日で子ども達はお世話になった淀中学校を卒業いたします。それぞれの高校へ進み、いずれ社会人になった時、

皆様方がどれだけ大変な思いで自分達の為に時間をさき、導いて下さっているのかを理解し感謝することと思っています。卒業後、子ども達には幾多の試練が待ち受けていることと思います。悩み壁にぶちあたり皆様に助けを求めるところがあった時は、今まで同様の温かいご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご健康と淀中学校の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます、御礼の言葉とさせていただきます。

令和二年三月十三日
第七十二回卒業生保護者代表

森本 奈月